

演奏で月5万円を目指す 実践ワークBOOK

はじめに

「もっと演奏する機会を増やしたい」

「せっかく続けてきた楽器を、誰かに喜んでもらえる形で活かしたい」

「できれば演奏を仕事にして、少しでも収入につなげたい」

そんな思いはありませんか？

実は、演奏の仕事を始めるために必要なのは、特別な経歴や華やかなコンクール歴だけではありません。

地域の高齢者施設などでは、利用者様に音楽を楽しんでいただくための演奏会が行われています。

そこで求められるのは、素晴らしい演奏技術だけではなく、

「この方なら安心してお願いできそう」

「利用者様が喜んでくださりそう」

とっていただける演奏者になることです。

このワークBOOKでは、ただ読むだけではなく、実際に手を動かしながら、

「自分だったら、どのように演奏の仕事を始められるだろう？」

と考えていただきます。

全部を一人で完成させる必要はありません。

むしろ、

「ここが分からない」

「ここで手が止まった」

という場所を見つけることも、このワークの大切な目的です。

それでは、一緒に始めてみましょう。

WORK 1

まず「演奏でいくら収入を得たいか」を考えてみましょう

最初に考えたいのは、目標です。

いきなり大きな金額を目指す必要はありません。

たとえば、

1回5,000円 × 月2回 = 月10,000円

1回5,000円 × 月4回 = 月20,000円

1回10,000円 × 月5回 = 月50,000円

というように、演奏の仕事を少しずつ増やしていくこともできます。

あなたの目標を書いてみましょう

私が演奏で得たい収入は、

月 _____ 円

そのために、

1回 _____ 円 × 月 _____ 回

を目標にします。

なぜ、その金額を目指したいですか？

WORK 2

あなたの「演奏者としての強み」を棚卸してみましょう

「私には特別な経歴がありません」

そうおっしゃる方も少なくありません。

でも、施設様に喜んでいただける要素は、音楽歴や受賞歴だけではありません。

これまで続けてきた経験そのものが、強みになることもあります。

書いてみましょう

楽器・歌：

演奏歴：

人前で演奏した経験：

得意なジャンル：

演奏できる曲：

人から褒められたこと：

演奏活動に使える曜日・時間：

あなたならではの魅力は何だと思いますか？

WORK 3

あなたの近くにある高齢者施設を探してみましょう

演奏の仕事は、遠くまで出かけなければならないとは限りません。

まずは、ご自宅から無理なく通える範囲を調べてみましょう。

インターネットの地図などを使って、

「高齢者施設」
「有料老人ホーム」
「デイサービス」

などで検索してみてください。

通えそうな施設を書き出してみましょう

1施設目

施設名：_____

場所：_____

2施設目

施設名：_____

場所：_____

3施設目

施設名：_____

場所：_____

4施設目

施設名：_____

場所：_____

5施設目

施設名：_____

場所：_____

ここで考えてみましょう

施設を見つけたあと、

「誰に連絡すればいいの？」

「電話して迷惑ではない？」

「演奏者を募集している施設はどうやって見つけるの？」

と思いませんでしたか？

実は、演奏の仕事は一般的な求人サイトだけを見ていると、なかなか見つからないことがあります。

だからこそ、自分から演奏のご提案をするという考え方も大切になります。

WORK 4

あなたなら演奏料金をいくらにしますか？

次は、実際に施設様から、

「料金はいくらですか？」

と聞かれた場면을想像してみましょう。

あなたなら、いくらと答えますか？

30分 _____円

45分 _____円

60分 _____円

交通費 _____円

その料金にした理由は？

ここは、初めて演奏活動を始めの方が迷いやすいところです。

高すぎれば依頼につながりにくなる可能性があります。

一方で、安くしすぎたり、いつまでも無料で演奏したりすることが、ご自身の望む活動につながるとは限りません。

活動地域、演奏経験、内容、演奏時間などを考えながら、自分に合った料金を考える必要があります。

WORK 5

30～40分の演奏プログラムを作ってみましょう

高齢者施設での演奏では、ただ演奏を聴いていただくだけではなく、利用者様にも一緒に楽しんでいただける「参加型」の内容にする方法があります。

では、あなたならどんな演奏会を作りますか？

仮のプログラムを作ってみましょう

1曲目：_____

2曲目：_____

3曲目：_____

4曲目：_____

5曲目：_____

みなさんと一緒に歌う曲：

途中でお話する内容：

実際に作ってみて、迷ったことはありませんでしたか？

「何曲くらい必要？」

「クラシックだけでも大丈夫？」

「昭和歌謡や唱歌は入れた方がいい？」

「利用者様にも歌っていただいた方がいい？」

「MCでは何を話せばいい？」

こうした部分まで考えると、単に「演奏できる」ということと、「施設様からお願いされる演奏会を作る」ということには、少し違いがあることが見えてきます。

WORK 6

施設様へ渡すプロフィールを考えてみましょう

あなたが施設の担当者だったとします。

知らない演奏者から、

「演奏させてください」

と電話がかかってきました。

そのとき、どんな情報があれば安心して検討できるでしょうか？

必要だと思うものにチェックしてみましょう

- 演奏者の写真
- プロフィール
- 演奏楽器
- 演奏内容
- 演奏時間
- 演奏料金
- 過去の演奏実績
- 演奏会の写真
- 連絡先
- その他

その他：

あなたを紹介する文章を書いてみましょう

WORK 7

実際に施設へ電話するとしたら、何と伝えますか？

ここからが実践です。

近所の高齢者施設へ電話をすると想像してみてください。

電話がつながりました。

「はい、○○ホームです」

と言われました。

さて、あなたは最初の30秒で何と伝えますか？

実際に書いてみましょう

「お忙しいところ失礼いたします。

_____」

書けましたか？

ここで手が止まってしまっても大丈夫です。

演奏には慣れていても、「自分の演奏を仕事として提案する」経験がない方にとって、営業はまったく別のスキルだからです。

WORK 8

依頼につながらなかったとき、次にどうしますか？

1施設へ連絡して、すぐに演奏が決まるとは限りません。

「現在は募集していません」

「担当者が不在です」

「資料を送ってください」

「検討しておきます」

など、さまざまな返答があります。

そんなとき、あなたなら次にどうしますか？

「資料を送ってください」と言われたら？

何を送りますか？

「検討します」と言われたら？

いつ、どのように再度連絡しますか？

WORK 9

演奏後の「次の仕事」まで考えてみましょう

演奏会が無事に終わりました。

利用者様にも喜んでいただきました。

そこで終わりではありません。

演奏活動を収入につなげていくためには、1回の演奏を次の演奏につなげていくことも大切です。

あなたなら演奏終了後、施設様に何と伝えますか？

次回の提案ができそうな行事を書いてみましょう

敬老の日：

クリスマス：

お正月：

その他：

WORK 10

ここまで取り組んでみて、どこで止まりましたか？

ここまでワークを進めてくださり、ありがとうございます。

最後に、今の状態を確認してみましょう。

当てはまるものにチェックしてください。

- 自分の演奏をどう仕事にすればいいか分からない
- どの施設へ連絡すればいいか分からない
- 料金設定に自信がない
- 高齢者施設向けのプログラム作りに迷う
- プロフィール資料を一人で作るのが難しい
- 電話で何を話せばいいか分からない
- FAXやメールで何を書けばいいか分からない
- 断られたあとの対応が分からない
- 演奏後のリピート提案の方法が分からない
- 一人だと行動を先延ばしにしまいそう
- 自分の楽器でも仕事にできるのか知りたい
- 自分の場合、何から始めるべきか相談したい

チェックが付いた方へ

分からないところがあっても当然です

いくつチェックが付きましたか？

1つでもチェックが付いたからといって、演奏活動に向いていないわけではありません。

演奏技術を身につけることと、

「演奏を仕事にする仕組みを作ること」

は別だからです。

施設を探す。

料金を決める。

プロフィール資料を作る。

施設様へ連絡する。

演奏内容を考える。

演奏後に次回のご提案をする。

こうして書き出してみると、演奏の仕事を作るためには、演奏以外にも決めることがたくさんあることがお分かりいただけたのではないのでしょうか。

だからこそ、最初から全部一人でできなくても大丈夫です。

あなたの場合は、何から始めればいい？

無料個別相談のご案内

このワークBOOKに取り組んで、

「私の場合はどうすればいい？」

「料金はこれでいいのかな？」

「この楽器でも施設演奏はできる？」

「近所の施設へ連絡してみたいけれど、何と話せばいい？」

そんな疑問が出てきた方のために、無料個別相談をご用意しています。

無料個別相談では、あなたの

- ・楽器
- ・演奏経験
- ・現在の活動状況
- ・活動できる曜日や時間
- ・目指したい演奏収入
- ・このワークで手が止まったところ

などを伺いながら、

「演奏で収入を得るために、まず何から始めるとよいか」

を一緒に整理していきます。

このワークBOOKは、全部完成していなくても構いません。

むしろ、書けなかったところ、迷ったところをそのままお持ちください。

そこに、これからの演奏活動を変えるヒントがあるかもしれません。

演奏経験を「仕事」につなげてみませんか？

これまで何年、何十年と続けてきた音楽。

その経験を、自分だけの楽しみで終わらせるのではなく、

誰かに喜んでいただきながら、演奏の仕事として育てていく。

50代、60代からでも、これまで積み重ねてきた経験を活かして、新しい演奏活動を始めることはできます。

まずは、このワークBOOKで見つけた

「分からないこと」

から、一緒に整理してみませんか？

【無料個別相談はこちら】

<https://www.kukiko.online/performance-consultation/>

著者プロフィール

森口九喜子

フルート奏者／演奏活動実践スクール代表

演奏経験を活かし、地域や高齢者施設などで演奏の仕事を始めたい方に向けて、演奏活動の始め方、プロフィール資料作成、施設へのご提案、演奏プログラム作り、継続依頼につなげる方法などをサポートしています。

「演奏が好き」で終わらせず、これまで積み重ねてきた音楽経験を、誰かに喜ばれる演奏の仕事へ。

一人ひとりの経験や環境に合わせた演奏活動づくりをお手伝いしています。